

令和3年度 学校教育自己診断 結果

令和3年度2学期末に生徒・保護者・教職員を対象に「学校教育自己診断」を行いました。その集計結果等をお知らせします。

【生徒回答】

	診 断 内 容	R3 肯定的回答	R2 肯定的回答	前年比
1	学校へ行くのが楽しい。	82%	80%	—
2	少人数の授業や、関心のある選択授業がある。	92%	91%	—
3	授業内容に興味・関心をもつことができている。	90%	84%	↑
4	学校生活についての先生の指導は適切である。	87%	80%	↑
5	先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。	78%	76%	↑
6	先生は、いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	89%	83%	—
7	授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。	90%	83%	↑
8	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	93%	79%	↑
9	将来の進路や生き方について考える機会がある。	94%	91%	↑
10	進路実現に向けて、進学や就職など適切な指導が行われている。	92%	91%	—
11	この学校には、他の学校にない特色がある。	99%	99%	—
12	体育祭、文化祭などの学校行事は楽しく充実している。	83%	83%	—
13	部活動や生徒会活動が盛んである。	94%	87%	↑
14	高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。	91%	89%	↑
15	個人情報を守られている。	93%	89%	↑
16	担任の先生以外にも保健室や相談室等で、相談することができる先生がいる。	73%	73%	—
17	学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動すべきか指導されている。	72%	79%	↓
18	学校の施設や設備については満足している。	89%	78%	↑
19	地域(住之江区)や大学、芸術団体との連携の機会がある。	66%	66%	—
20	国際感覚を養う国際交流の機会がある。	44%	57%	↓

分析

コロナ禍での高校生活が2年間続き、本調査結果にも随分影響している。

まず、前年比で大きく向上した（7%以上）項目は、5つ。その中で「7 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする機会がある。」については、造形科目はもとより普通科目においても発表機会を増やしていることが考えられる。生徒のプレゼンテーション力育成に効果があったと思われる。「13 部活動や生徒会活動が盛んである。」については、作品発表の機会が奪われた昨年度に比べ、今年度は制作期間が短縮されたものの発表機会は保障されたので、生徒たちが意欲的に活動した成果が出たと考えられる。「18 学校の施設や設備については満足している。」は、改修によりたいへん気持ちよく使用できているトイレのことや、HR教室に短焦点プロジェクタが設置されたこと、新型コロナウイルスの影響により空気清浄機や体温測定装置などが導入されたことで満足度が高まったと推測される。

一方で、大きく低下した（5%以上）項目は、「17 学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動すべきか指導されている。」「20 国際感覚を養う国際交流の機会がある。」の2項目であった。

今年度も昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、6月実施予定だった避難訓練が9月に延期され、9月に「大阪880万人訓練」とともに予定していた避難訓練も放送による実施となった。「17」については、2年連続で低下している。また、「20」についても、海外との交流ができなかったため、大きく低下した。

【保護者回答】

	診 断 内 容	R3 肯定的回答	R2 肯定的回答	前年比
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	85%	85%	—
2	子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。	77%	70%	↑
3	この学校には、他の学校にない特色がある。	98%	98%	—
4	学校での友達関係はうまくいっている。	91%	90%	—
5	学校は、教育情報について、情報提供の努力をしている。	84%	80%	—
6	学校の生徒指導の方針に共感できる。	89%	83%	↑
7	先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。	87%	78%	↑
8	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	93%	84%	↑
9	個人の悩みや、抱えるものについて、適切にアドバイスし、対応してくれる先生がいる。	85%	81%	—
10	学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を養おうとしている。	95%	81%	↑
11	将来の進路や生き方について考える機会がある。	91%	91%	—
12	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	93%	89%	—
13	体育祭や文化祭などの学校行事は、活発に行われている。	83%	95%	↓
14	子どもは、高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。	89%	83%	↑
15	子どもの個人情報を守られている。	96%	94%	—
16	地域(住之江区)や大学等との交流は盛んである。	73%	76%	—
17	学校は、子どもの国際感覚を養うような国際交流行事を実施している。	34%	71%	↓
18	学校の施設や設備については満足している。	91%	88%	—
19	この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	71%	78%	↓
20	子どもをこの学校に入学させて良かった。	95%	95%	—

分析

コロナ禍での高校生活が2年間続き、本調査結果にも随分影響している。まず、前年比で大きく向上した(7%以上)項目は、5つ。いずれも昨年度の臨時休校が多く教育活動が停滞した1年間と比べると非常に教育環境が良くなった点が数値として表れたと思っている。「7 先生は、学校生活の問題を見逃さずに対応してくれる。」と「10 学校は、子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を養おうとしている。」、「14 子どもは、高校展や芸文祭などの制作活動を通じて、達成感が得られる。」の3項目については、コロナ禍以前の一昨年(令和元年度)の数字を回復した。

一方で、大きく低下した(5%以上)項目は、「13 体育祭や文化祭などの学校行事は、活発に行われている。」「17 学校は、子どもの国際感覚を養うような国際交流行事を実施している。」「19 この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。」の3項目については、行事の延期や中止、規模の縮小、保護者の来場をお断りする行事もあったことなどが原因とみられる。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症と闘いながら、生徒の安全を第一に考えつつもできるだけ保護者の皆さんに本校の教育活動に参加していただく機会を検討していきたい。

【教職員回答】17名回答

	診 断 内 容	R3 肯定的回答	R2 肯定的回答	前年比
1	学校の教育活動について、日常的に話し合っている。	88%	87%	—
2	生徒に対して、わかりやすく興味・関心を引く授業を行っている。	94%	98%	—
3	補習や講習等を通じて、学力向上(実技力向上)に努めている。	77%	84%	↓
4	ICT(情報機器等)を教育活動の中で活用している。	77%	62%	↑
5	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	88%	69%	↑
6	学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	88%	87%	—
7	学校全体として、生徒・保護者の相談に適切に対応している。	100%	89%	↑
8	生徒の個人情報を守る管理システムが確立できている。	77%	84%	↓
9	体育祭、文化祭、修学旅行などの学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう工夫・改善を行っている。	94%	84%	↑
10	部活動を通じて、生徒が学校生活において充実感が得られる工夫がある。	94%	89%	—
11	国際感覚を養う国際交流について学ぶ機会を多く設定している。	41%	40%	—
12	教育活動の中で、平和、社会のルール、人権の尊重、生命の大切さなどについて学ぶ態度を育てている。	76%	66%	↑
13	生徒一人ひとりの進路希望に応じて、きめ細かい指導を行っている。	100%	82%	↑
14	教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教職員等とも相談することができる。	94%	87%	↑
15	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており迅速に対応できている。	77%	82%	—
16	緊急の事故、事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう、危機管理体制ができている。	88%	76%	↑
17	施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。	94%	68%	↑
18	この学校には、他の学校にない特色がある。	100%	98%	—
19	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者への周知に努めている。	100%	87%	↑
20	高大連携、地域との交流の機会が教育活動に生かされている。	82%	66%	↑

分析

回答率(17/45)に課題があり、経年変化を正確に分析することが困難であった。1票で5%以上の差が生じる%表示は意味のないように思われる。次年度からは、回答率を上げる工夫をしたいと思っている。

まず、前年比で向上した(7%以上)項目は、11。その中で「4 ICT(情報機器等)を教育活動の中で活用している。」については、HR教室への短焦点プロジェクタ導入とともに、活用が徐々に浸透し始めているということを表している。「9 体育祭、文化祭、修学旅行などの学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう工夫・改善を行っている。」については、コロナ禍で学校行事の中止や延期、縮小が相次ぐ中、少しでも生徒の願いにこたえてあげようとする教師の熱い想いを感じる。「13 生徒一人ひとりの進路希望に応じて、きめ細かい指導を行っている。」では教員が自信をもって回答していることがうかがえる。「16 緊急の事故、事件、災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう、危機管理体制ができている。」は、規定量以上の備蓄品の用意や、災害発生時の迅速な情報発信の体制整備などが起因していると思われる。

一方で、大きく低下した(7%以上)項目は、「3 補習や講習等を通じて、学力向上(実技力向上)に努めている。」「8 生徒の個人情報を守る管理システムが確立できている。」の2項目であった。

上の2項目については、新型コロナの影響で放課後残せなかったことが主な原因かと思われる。先生方が自ら反省すべき点を挙げていることから、今後の改善を期待したいところである。